

令和6年度

幼稚園・幼保連携型認定こども園新規採用教員研修

研修の手引き

福井県教育委員会

園名	
氏名	

目 次

1	教員と研修について	1
2	実施要項	4
3	提出書類等	7
	各書類の詳細	7
	提出経路	8
	園内研修計画書〈記入例〉	9
	園外研修計画書〈記入例〉	10
	〈教育総合研究所案内図〉	11
	〈福井県教員育成指標〉	12

園内研修の問合せ

福井県幼児教育支援センター

〒918-8135 福井市下六条町1-4-1 福井県生活学習館2階

TEL: (0776) 41-4231

Mail: youji-c@pref.fukui.lg.jp

園外研修の問合せ

福井県教育総合研究所 教職研修センター 教員研修課

幼稚園・幼保連携型認定こども園新規採用教員研修担当

〒919-0461 坂井市春江町江留上緑8-1 TEL: (0776) 58-2160

Mail: youkoben@fec.fukui-c.ed.jp

1 教員と研修について

1 教員としての研修

(1) 研修の必要性

幼児教育の成果は、その担い手である教員の資質・能力に負うところが大きい。幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものである。これからの先行き不透明な時代をたくましく生き抜く力の基礎を育むためにも、教員は、幼児を内面から理解した上で、幼児の主体的な活動が確保されるように物的・空間的環境を構成するとともに、幼児の活動を豊かにする人的環境も担っている。さらに、小学校や家庭との連携等、今日の教育課題を解決する上で、教員の資質・能力の向上を図ることがますます重要になっている。

このため、各教員が教職のスタートとしての幼稚園・幼保連携型認定こども園新規採用教員研修に主体的・積極的に参加し、各自の教員としての資質・能力を高めるとともに、これからの教員としての課題等を把握し、継続的な研修を続けていくことが大切である。

(2) 資質・能力の向上を目指して

福井県教育委員会は、公立の幼稚園・幼保連携型認定こども園の教員に対して「福井県教員育成指標」に基づく研修を行っている。教員は、免許制度によって一定の資格を取得しているが、それだけでは決して十分ではなく、絶えず進展する学問や社会の変化に対応しながら教育に当たる必要がある。

今日、教員に対して、教育者としての使命感、情熱、幼児に対する教育的愛情、広く豊かな教養、一人一人の幼児理解に基づく実践的指導力等の資質・能力が従来にも増して求められている。そのため、教員は研究と修養に努め、資質・能力の向上を図ることが大切である。

(3) 教員に求められる資質・能力

①教育に対する情熱・使命感に燃え、常に学び続ける向上心

かけがえのない幼児の心身の健全な育成を図るためには、職務への誇りと愛着とともに、教育者としての強い使命感と倫理観、人権意識など、豊かな人間性を備えていることが求められる。

②専門的知識・実践的技能

幼児は、自発的な活動である遊びを通じて、心身全体を働かせ、様々なことを経験しつつ、理解力、言語表現能力、運動能力、思考力、社会性、道徳性などの多様な能力や性質について総合的な発達を遂げる。

教員には、このような幼児の発達段階や発達過程をその内面から理解し、幼児の示す発見の喜びや達成感を、共感を持って受け入れるといった幼児理解が重要である。幼児の総合的な発達を促すため、主体性を引き出しつつ遊びを通じて総合的に指導する力が求められており、幼児期の特性に応じた指導ができる専門性が求められる。

③円滑な人間関係を築き、課題に対して臨機応変に対応する力

幼稚園ならびに認定こども園は、保護者や地域住民の厚い信頼に応えることが重要であり、園が目指す教育目標を達成するためには、園長の下、全教職員が手を携え、一丸となって教育活動に取り組むことが必要である。

そのためには、個々の教員が高い専門性に支えられた指導力を発揮することはもとより、全教職員が協働しながら、組織的・計画的に取り組むことが必要であり、組織人としての自覚や協調性、また、それぞれの職務に応じたマネジメント能力を身に付けていくことが求められる。

④幅広い教養を身に付け、自立した社会人としての良識や幅広い視野

社会情勢が大きく変化する中、日々新たに生じる課題への対応は、教育においても求められている。教員は、社会の変化を的確にとらえ、教育内容や教育制度等の変化に積極的に対応することが必要であり、様々な課題を解決できる能力を身に付けていくことが求められる。

2 研修の基本的な考え方

研修は、教員自身による自発的な研修が基本である。また、各園が組織全体で教育力を高めていくためには、園内研修が不可欠であり、園長のリーダーシップの下、組織的、計画的に実施されることが求められる。更に、園外研修は自主研修や園内研修を補完するための研修として重要である。

(1) 自主研修

研修は教員自身による自発的な研修が基本であり、知識、技能等の向上を図るとともに、教育課題の解決を図るため、自主研修に努めることが何より大切である。

(2) 園内研修

幼児の実態に応じた適切な指導を行う上で、園内研修は大変重要である。特に、日々の保育における指導力を高めるためには、互いに保育を公開し、意見を交換することが効果的であり、望ましい指導の在り方について研究を進めることが大切である。

また、園が抱える課題については、個々の教員が認識するとともに、園全体で組織的、継続的に取り組み、評価、改善していくことが必要である。

(3) 園外研修

教員が、教育総合研究所等において保育等に関する専門的な研修を受けることは、自主研修や園内研修で得られた知識や技能等を一層高める上で効果的である。

また、同じ課題を持った教員や勤務歴が同程度の教員が集まることで、相互に学び、資質・能力を高めることができるため、研修の効果は大きい。

(4) 経験年数や職務に応じた研修

教員は、その経験年数に応じて担う役割が異なる面もあることから、求められる資質・能力は様々ではない。このため、教員は、経験年数や職務に応じて自らの適性や課題を的確に把握し、計画的に研修を進めることが必要である。

3 研修の心構え

- (1) 研修の目的、研修内容等を、あらかじめよく理解した上で研修に参加することが大切である。また、日々の教育実践から生まれる疑問をまとめて課題にまで高め、問題意識をもって参加することが望ましい。そして、研修の成果が幼児に還元されるように努めることが大切である。
- (2) 研修の記録を整理するとともに、その内容をまとめて、活用を図るように心掛けていくことが必要である。
- (3) 集団の研修は個人の研修によって支えられており、個人の研修は集団の研修によって高められていくものである。よって、園内研修や園外研修に進んで参加し自己を磨くとともに、個人の研修の成果を集団の研修に反映していくように努めることが大切である。
- (4) 幼児は教員の指導力、情熱を敏感に見抜くものである。「保育をしながら幼児から学ぶ」という態度こそ、教員にとって大切な姿勢である。自ら成長し続ける教員こそ幼児の成長を促すことができると意識し、日々の業務を教員としてのかけがえのない研修の場として考えることが大切である。
- (5) 日々、業務の合理化や効率化を図りながら、自ら工夫して研修の時間を生みだしていくことが大切である。

4 研修内容

資質・能力	園内研修 ※	園外研修
素 養	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新任教員としての心構え ・ 保育者としての常識、マナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の服務・規律 ・ 幼児教育の方針・目標・現状と課題 ・ 福井県の教育と幼児教育の概要 ・ 社会人としての常識 ・ 幼児教育と関連法規 ・ 幼児の人権
指導力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の展開と反省・評価 ・ 環境構成の考え方と実際 ・ 園具・教具の工夫 ・ 心の教育の基礎 ・ 指導計画（週案、日案）の作成 ・ 行事の考え方と実際 ・ 記録のとり方と指導要録の記入の実際 ・ 幼児の理解と指導の実際 ・ 学級経営の基礎 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程と指導計画 ・ 領域【健康】の理解と指導法 ・ 領域【人間関係】の理解と指導法 ・ 領域【環境】の理解と指導法 ・ 領域【言葉】の理解と指導法 ・ 領域【表現】の理解と指導法 ・ 教育相談の基礎的な理論と方法 ・ 気がかりな幼児への支援 ・ 幼児の心と体の発達のかかわり ・ 幼児の安全 ・ 保育参観と研究協議
マネジメント ・ 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育目標と学級経営 ・ 組織と個人の役割（園務分掌） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育目標の理解 ・ 教職員のメンタルヘルス ・ 自己マネジメント
連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の自己評価と情報提供 ・ 健康安全指導の進め方 ・ 教育相談、保護者会の進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援 ・ 幼児教育から小学校教育への接続 ・ 保護者・地域社会との連携

※ 留意事項

- (1) 研修内容については、例示してある研修内容を組み合わせたり、必要に応じて加除したりする等、地域や園の実情、対象者の経験（講師、保育所勤務等。但し、非常勤講師は除く。）の有無に応じて工夫する。
- (2) 1年間にわたり計画的に行い、実践を通じて、より具体的な研修を進めるようにする。

2 実施要項

1 目的

幼稚園・幼保連携型認定こども園新規採用教員研修は、幼稚園ならびに認定こども園の新規採用教員に対して、幼児期の教育水準の維持向上を図るため、現職研修の一環として、幼児教育の基礎、指導方法、教育課程の編成等に関する研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得られるようにすることを目的とする。

2 対象者

令和6年度当初の公・国・私立幼稚園ならびに幼保連携型認定こども園の新規採用教員
令和5年度途中における公・国・私立幼稚園ならびに幼保連携型認定こども園の新規採用教員

3 内容

- (1) 園内において、実際の保育実践を通じた保育研究についての研修を、年間5日間実施する。
(以下、園内研修という。)
- (2) 教育総合研究所等において、教育課程と指導計画、五つの領域の理解と指導法、気やかな幼児への支援等に関する研修を年間6日間実施する。(以下、園外研修という。)

4 期間

実施期間は、令和6年度の1年間とする。

5 実施主体

福井県教育委員会が関係教育委員会ならびに所管する機関の協力を得て、これを実施する。

6 園内研修・・・年間5日間（原則1日6時間実施）

公立園対象者は所管の市町職員（指導主事、保育専門官、市町幼児教育アドバイザー認定者等）、国・私立園対象者は園長等の指導・助言による研修を受講する。

ただし、公立園対象者で保育者経験が3年以上あり、教諭の職務の遂行に必要な知識や経験が十分であると認められる者は、所管の市町担当課と協議の上、園長等の指導・助言による研修に替えることができるものとする。

なお、公・国・私立園ともに市町職員、園長等による指導・助言が実施できない場合は、県が任命する園内研修指導員による指導・助言に替えることができる。

また、この園内研修の指導・助言を行う者は、「園内研修ガイド（福井県幼児教育支援センター）」を参考にしながら指導・助言を行うこととする。

7 園外研修・・・年間6日間

「園外研修計画」（p.5）に基づき、教育総合研究所等において、講義・演習等による研修を受講する。

園外研修計画

	日時	公立		私立	会場	コード No.	研修内容 【 】内は領域	
		保育士者経験 3年未満	保育士者経験 3年以上					
園外1	4月18日(木) 9:30~16:00	必修	必修	任意 (推奨)	教育総合研究所	701	・教職員の服務・規律	
							702	・幼児教育の方針・目標・現状と課題
						711	・教育課程と指導計画	
						718	・音楽遊び【表現】	
						719	・造形遊び【表現】	
						***	・「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び	
				***	・研修ガイダンス			
園外2	6月12日(水) 9:30~16:00		任意 (推奨)	任意 (推奨)	教育総合研究所	712	・幼児の安全	
						731	・教職員のメンタルヘルス・自己マネジメント	
					716	・運動遊び・水遊び等【健康】		
園外3	7月12日(金) 9:30~16:00		必修	必修	教育総合研究所	717	・身近な自然に関わる遊び【環境】	
						781	・戸外環境の生かし方【環境】	
						・環境構成の工夫【環境】		
						・教育実践研究の共有(テーマ設定)		
園外4	9月12日(木) 9:30~16:00		任意 (推奨)	必修	教育総合研究所	722	・人との関わり、保護者・地域社会との連携【人間関係】	
						713	・食育【健康】	
					704	・幼児の人権		
園外5	11月14日 (木) 9:30~16:00		必修		任意 (推奨) ※1	教育総合研究所	714	・言葉の発達の理解【言葉】
							723	・気がかりな幼児への支援
				721			・幼小接続の意義	
				782			・教育実践研究の共有(中間まとめ)	
園外6	下記6日のうち 1日選択 1月23日(木) 24日(金) 28日(火) 30日(木) 2月5日(水) 6日(木) いずれも 13:30~16:30		任意 (推奨)	任意 (推奨) ※2	嶺南教育事務所 教育総合研究所 あいぱーく今立	783	教育実践研究の共有(まとめ) (初任者・3年目・中堅のクロスセッション)	
	(各自)		必修			任意 (推奨)	参観園	771

(1) 園外研修1~5の受付時間は 9:00~9:20

※1 園外研修5は、原則的に園外研修3に申し込んだ者に限る。

(2) 園外研修6「教育実践研究の共有」の受付時間は 13:00~13:20

※2 園外研修6「教育実践研究の共有」は、原則的に園外研修5に申し込んだ者に限る。

[コードNo. 771 参観日および参観園等の回答について]

園外研修6「幼稚園・認定こども園・保育所参観」は公開保育実施園等の中から選択し、園長と相談の上、決定し、実施要項や申込方法を確認の上、各自で参加申込みをする。保育参観および研究協議の双方に参加すること。申込が完了した時点で、参観日、参観園等について、以下のURLまたはQRコードから回答すること。

【URL】 <https://forms.gle/JzyfjDWVsbZRR2pf7>

【QRコード】



8 教育実践研究

「環境構成の工夫」の視点から、実践と省察の往還を通じた力量向上を図る。

7月 コードNo. 781 テーマ設定

「環境を見直し、工夫するワークシート」をもとに今年度の教育実践研究の深め方についてグループ協議を行う。

11月 コードNo. 782 中間まとめ

「教育実践研究レポート（中間）」をもとにグループ協議を通じて、専門的な力量を形成する。

1、2月 コードNo. 783 まとめ

「教育実践研究レポート（完成）」をもとに幼小中高特の校種を越えたグループ協議を通じて、他者の視点を意識し、視野を広げる。

[コードNo. 783 受講希望日の調査について]

受講希望日（第1希望、第2希望）その他担当クラス等について、以下のURLまたはQRコードから回答すること（事前に行事予定を確認し、管理職と相談）。なお、受講決定日は、研究所から別途文書で通知する。

【期日・会場】

1月23日（木）教育総合研究所

24日（金）嶺南教育事務所

28日（火）教育総合研究所

30日（木）あいばーく今立（越前市）

2月5日（水）教育総合研究所

6日（木）教育総合研究所

【URL】 <https://forms.gle/PuZayyqCnqP4ixpr5>

【QRコード】



【締切】 令和6年10月25日（金）

[レポートについて]

様式は、教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」→「幼稚園・幼保連携型認定こども園新採用教員研修」よりダウンロードする。

(1)「環境を見直し、工夫するワークシート」（様式5）A4判たて ※記入できるところまででよい。
コードNo. 781の際に1部持参する。

(2)「教育実践研究レポート（中間）」（様式6）A4判たて ※枚数は指定しない
コードNo. 782の際に7部持参する。

園外5受講後、グループ協議（中間まとめ）での考察を加え、11月22日（金）までに下記のとおり提出する。

（提出方法）

教育総合研究所ホームページ→「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」→「幼稚園・幼保連携型認定こども園新採用教員研修」→手引きの下にあるリンク先からログインし、「幼稚園・こども園研修 レポート」フォルダ内にアップロードする。

※ID・パスワードは別途通知

ファイル形式：PDF

ファイル名：【園名_氏名（フルネーム）】 中間まとめ

(3) 「教育実践研究レポート（完成）」（様式7）A4判たて、※枚数は指定しない
コードNo.783の際に7部持参する。

1、2月クロスセッション受講後、クロスセッションでの考察を加え、一週間以内に(2)と同様の提出方法で提出する。

ファイル形式：PDF ファイル名：【園名_氏名（フルネーム）】完成

9 研修を受けるに当たって

(1) 園外研修の準備物

- ・研修の手引き（本誌）
- ・筆記用具、ノート等、名札（形式は右図参照）
- ・幼稚園教育要領解説または、
幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月版）
- ・「環境の構成を工夫しよう」パンフレット※園外研修3のみ
- ・研修資料
＜ダウンロード方法＞
教育総合研究所ホームページ→「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」→「幼稚園・幼保連携型認定こども園新採用教員研修」
→手引きの下にあるリンク先からログインし、資料をダウンロードする。
- ・その他、上記以外に準備物や課題等が必要な場合は別途通知する。

【名札形式(名刺大)】

○○○○園
氏名○○ ○○

(2) 研修の参加に支障が生じたとき

指定された研修日に受講できない場合や、災害・事故等の緊急事態により研修の参加に支障が生じた場合は、園長を通じて教育総合研究所に連絡する。

(3) 研修記録の記入等

研修を受けた後「園内研修記録・報告書」および「園外研修記録・報告書」の欄に必要事項を記入する。園外研修は復命時に園長の検印を受ける。

10 その他

教育総合研究所ホームページにある「研修・会議参加に際しての留意事項」を下記URLもしくは右のQRコードより確認して研修に臨むこと。

【URL】 <https://x.gd/6ISc0>

【QRコード】



3 提出書類等

1 各書類の詳細

次の(1)～(4)の様式を、教育総合研究所HP「研修の申込・案内」→「基本研修・職務研修」よりダウンロードし、p. 8の提出経路に従って締切日までにメールで提出する。提出時のファイル形式はPDFとする。

(1) 「園内研修計画書」（様式1）※p. 9に記入例

園内研修において指導・助言を行う者の指導を受けて作成し、データで提出する。

ファイル名：【園名_氏名（フルネーム）】園内研修計画書

(2) 「園内研修記録・報告書」（様式2）

研修終了ごとに記入する。全研修終了後に、データで提出する。

ファイル名：【園名_氏名（フルネーム）】園内研修記録・報告書

(3) 「園外研修計画書」(様式3) ※p.10に記入例
 データで提出する。
 ファイル名:【園名_氏名(フルネーム)】園外研修計画書

(4) 「園外研修記録・報告書」(様式4)
 研修終了ごとに記入し、復命時に園長より検印を受ける。全研修終了後に、スキャンしたデータを提出する。
 ファイル名:【園名_氏名(フルネーム)】園外研修記録・報告書

(5) 園外研修に伴う諸届
 次のものは、必要に応じて園長が作成し、提出経路(p.8)に従ってデータをメールにて提出する。様式は、教育総合研究所ホームページ「研修の申込・案内」→「共通様式」からダウンロードする。提出時のファイル形式はPDFとする。
 「欠席届」(共通様式1)・・・年度内に代替研修の受講が可能な場合
 「延期願」(共通様式2)・・・受講が次年度以降になる場合

2 提出経路

提出経路および提出先と締切日は、特に指示のない限り次のとおりとする。

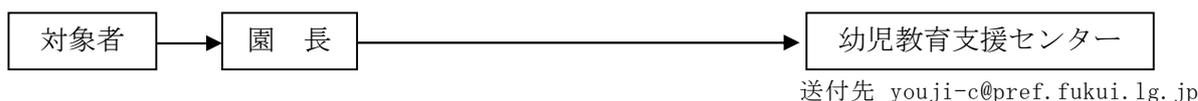
(1) 園内研修

提出書類	市町の担当課	幼児教育支援センター
園内研修 計画書(様式1)	5月17日(金)	5月24日(金)
園内研修 記録・報告書(様式2)	2月28日(金)	3月7日(金)

○ 公立幼稚園、公立認定こども園、私立認定こども園



○ 国立幼稚園、私立幼稚園



(2) 園外研修

提出書類	市町の担当課	教育総合研究所
園外研修 計画書(様式3)	4月26日(金)	5月10日(金)
園外研修 記録・報告書(様式4)	2月28日(金)	3月7日(金)

○ 公立幼稚園、公立認定こども園、私立認定こども園



○ 国立幼稚園、私立幼稚園



様式1 〈記入例〉

令和6年度 幼稚園・幼保連携型認定こども園 新規採用教員研修

園 内 研 修 計 画 書

園名 (公) 私

園長名

職名	<input type="checkbox"/> 幼稚園教諭 <input checked="" type="checkbox"/> 保育教諭	ふりがな	○○○○ ○○○
		氏名	○○ ○○
職歴	以下○を付け、経験年数を書いてください（非常勤講師は除く）。 <input checked="" type="checkbox"/> 無 / 保育所（ 年） / 幼稚園（ 年） / 認定こども園（ 年）		
担当	2歳児・その他（ ）	指導員名	○○ ○○
No.	期日	研 修 内 容	
1	6月○日（○）	新任教員としての心構え 保育者としての常識、マナー 健康安全指導の進め方 保育の展開と反省・評価 環境構成の考え方と実際	
2	7月○日（○）	指導計画（週案・日案）の作成 教育目標と学級経営 教育相談、保護者会の進め方 保育の展開と反省・評価 環境構成の考え方と実際	
3	9月○日（○）	園具・教具の工夫 幼児の理解と指導の実際 学級経営の基礎 保育の展開と反省・評価 環境構成の考え方と実際	
4	11月○日（○）	記録のとり方と指導要録の記入の実際 心の教育 組織と個人の役割（園務分掌） 保育の展開と反省・評価 環境構成の考え方と実際	
5	1月○日（○）	行事の考え方と実際 園の自己評価と情報提供 保育の展開と反省・評価 環境構成の考え方と実際 研修のまとめ	

様式3 〈記入例〉

令和6年度 幼稚園・幼保連携型認定こども園 新規採用教員研修

園外研修計画書

園名 (公)・私

園長名

園電話番号 - -

職名	<input checked="" type="radio"/> 幼稚園教諭 <input type="radio"/> 保育教諭	ふりがな	〇〇〇〇 〇〇〇	
		氏名	〇〇 〇〇	
職歴	以下○を付け、経験年数を書いてください（非常勤講師は除く）。 無／ <u>保育所</u> （2年）／幼稚園（ 年）／認定こども園（ 年）			
担当	3歳児・その他（ ）	所有免許状		
研修への参加		期 日	会 場	
		コードNo.	研 修 内 容	
<input type="radio"/>	園外1	4月18日（木）	教育総合研究所	701 702 711 718 719 ・教職員のサービス・規律 ・幼児教育の方針・目標・現状と課題 ・教育課程と指導計画 ・音楽遊び【表現】 ・造形遊び【表現】 ・「令和の日本型学校教育」を担う教師の学び ・研修ガイダンス
<input type="radio"/>	園外2	6月12日（水）	教育総合研究所	712 731 716 ・幼児の安全 ・教職員のメンタルヘルス・自己マネジメント ・運動遊び・水遊び等【健康】
<input type="radio"/>	園外3	7月12日（金）	教育総合研究所	717 781 ・身近な自然に関わる遊び【環境】 ・戸外環境の生かし方【環境】 ・環境構成の工夫【環境】 ・教育実践研究の共有（テーマ設定）
<input type="radio"/>	園外4	9月12日（木）	教育総合研究所	722 713 704 ・人との関わり、保護者・地域社会との連携【人間関係】 ・食育【健康】 ・幼児の人権
<input type="radio"/>	園外5	11月14日（木） ※原則的に園外研修3に申し込んだ者に限る。	教育総合研究所	714 723 721 782 ・言葉の発達の理解【言葉】 ・気がかりな幼児への支援 ・幼小接続の意義 ・教育実践研究の共有（中間まとめ）
<input type="radio"/>	園外6	後日選択 ※原則的に園外研修5に申し込んだ者に限る。 ※手引きp.6参照		783 ・教育実践研究の共有（まとめ） （初任者・3年目・中堅のクロスセッション）
<input type="radio"/>		※各自申し込み、手引きp.6参照		771 「幼稚園・認定こども園・保育所参観」 ・保育参観 ・研究協議

※公立教員は経験年数に応じて「研修への参加」欄に○を記入する。（p.5参照）

※私立教員は出席する研修のみ「研修への参加」欄に○を記入する。

教育総合研究所 案内図

〒919-0461 坂井市春江町江留上緑8-1
TEL: (0776) 58-2160



教育総合研究所の周辺は住宅街ならびに近隣学校の通学路となっておりますので、運転の際は徐行を心がけてください。

福井県教員育成指標

自らの個性を發揮し、人生を切り拓くために
挑戦し続ける人

福井の教育が目指す育てたい人間像

多様な人々の存在を認め、
協働して新たな価値を生み出す人

ふるさとや自然を愛し、
いつどこにいても社会や地域に貢献する人

福井が求める教師像

校種・教科等に関する
専門的知識・実践的技能
を持った人

専門分野に偏らない幅広い教養を身に付け、
自立した社会人としての良識や
幅広い視野を持った人

子どもたちはもとより、同僚や家庭、
地域社会と円滑な人間関係を築き、
課題に対して臨機応変に対応できる人

教育に対する情熱・使命感に
燃え、常に学び続ける
向上心を持った人

資質・能力	ステージ	福井県が求める採用時の姿	第1ステージ			第2ステージ			第3ステージ			ステージ	管理職	
			教員としての基盤を固める			中堅教員・ミドルリーダーとして教育活動を牽引する			経験を生かして指導・助言し、組織的な運営をする					資質・能力
素 養	教育的愛情 使命感 責任感	・子どもに対する愛情 ・教職への情熱	・子どもの個性を尊重し、夢と希望、豊かな人間性を育む熱意 ・教職に対する使命感、誇り、責任感	・学校教育を牽引する使命感、責任感	・組織的な運営を行う使命感、責任感 ・学校経営に積極的に参画する責任感							教育的愛情 使命感 責任感	・将来を担う子どもの成長に資する使命感や責任感の深い自覚 ・よりよい学校教育の実現に向けた努力	
	倫理観 人間性 社会性	・高い人権意識 ・豊かな人間性、広い視野 ・社会人としての一般常識	・確かな人権感覚、子どもの模範となる倫理観 ・人間的魅力の涵養、信頼関係の構築(子ども、教職員、家庭、地域社会 など) ・謙虚な姿勢、法令の遵守、服務の誠実かつ公正な遂行 ・市民としての役割の遂行と積極的な社会参画									倫理観 人間性 社会性	・豊かな人間性、広い視野、高い人権意識の醸成 ・子どもや教職員への示範となる言動 ・子ども、家庭、地域社会などとの信頼関係の構築	
	コミュニケーション力	・他者との意思の疎通と協働	・同僚性の構築、よりよい教育の実現に向けた教職員間意思の疎通と共通理解、合意形成の推進 ・子ども、家庭、地域社会などとの円滑な意思の疎通	・専門性の深化とキャリアアップ ・校内や専門分野における研究の牽引 ・若手教員の指導への積極的な関わり	・自らの実践の深化と改善 ・校内や専門分野の組織的な研究の運営 ・教職員の資質・能力を高める指導、助言								判断力 学び続ける力 探究心	・明確な教育理念と省察による自己の職能の成長 ◎正確で迅速な情報収集、整理、分析、共有(アセスメント) ・的確な判断を行き力 ・教育情報や国の動向、時代の流れの的確な把握
学 習 指 導 力	教科等の専門性	・教科等を学ぶ意義の理解 ・教科等で培う力の把握	・教科等において、多面的・多角的な視点での研究の推進と専門性の向上 ・カリキュラムマネジメントの視点での研究の推進 ・福井の未来の担い手となるために、教科等において、人間性を育む教育を推進 ・幼・小・中・高を通した学びの接続の視点での研究の推進 ・子どもの主体的な学び、確かな学力、生きる力の追究										創造的に 思考する力 コミュニケーション力	・幅広い教養と高い専門性、幅広い視点で、新たなものを創造する力 ・教職員との日常的な意見交換や情報共有をもとにしたよりよい民主的な職場環境の構築 ◎教職員同士および学校と家庭、地域、関係機関の相互作用による教育力の最大化(ファシリテーション)
	授業力	・教科等の基礎的な授業力 ・主体的・対話的で深い学びへの理解 ・探究的な学びの計画、立案	・教科等の特性や本質の理解 ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた楽しくわかる授業 ・多様な授業形態を取り入れた個別最適な学びや協働的な学びへの工夫 ・主体的・対話的で深い学びへの工夫 ・指導と評価の一体化に基づく実践 ・子どもの学びの見取りの意義と実践 ・校内研究への主体的な取組み、積極的な授業公開の実施	・省察をもとにした授業改善 ・教科等の特性や本質の追究 ・主体的・対話的で深い学びの実現 ・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びや協働的な学びの実現 ・教科等横断的なカリキュラムデザイン ・校内研究の中核として授業実践を牽引 ・若手教員への授業力を高める指導、助言	・広い視野での授業改善 ・教科等の特性や本質を理解した実践 ・主体的・対話的で深い学びの深化 ・多様な授業形態を工夫した個別最適な学びや協働的な学びの深化 ・資質・能力を培う授業の提案 ・学校全体の授業力向上に係る企画 ・学校内外の中心として組織を運営 ・学校内外の教職員への指導、助言									
	福井の教育力を支える研究・連携	・福井の教育の特長を理解 ・「ふるさと福井」を大切に思ふ心	・子ども自身がその個性に気づき伸ばしていけるような「引き出す教育」、学びを自ら進んで「楽しむ教育」を進めるための授業の実践的研究、協働による研究体制、同僚性の構築 ・縦も教科担任制の運営、教科の学びの系統性の構築 ・幼・小・中・高の接続の視点を持った教育の推進 ・研修や自主研究会への主体的な参画 ・教員間の世代間交流による優れた教育力の継承											業務改善 (働き方改革 に向けて)
ICTや情報・教育データの活用	・ICT活用の理解 ・ICT活用の技能	・授業でのICTや情報・教育データの積極的な活用 ・生徒指導、校務など学校全体でのICTの積極的な活用の推進 ・子どもの情報活用能力を育成する授業の工夫											組織マネジメント	・学校環境の特性と課題の把握、学校運営のビジョンの明示 ・学校評価を分析して学校運営のビジョンとスクールプランを策定する力 ・スクールプランを実現する具体的な方策の決定 ・組織運営に関わる内部及び外部環境の把握と強みを生かした戦略的な組織づくり ・一人一人の教職員が意欲を持って活動できる機会の構築、適性に合った職務の分掌による組織運営 ・家庭、地域と連携した学校づくり ・子どもの個性、特性に応じた指導、支援を徹底する組織づくり ・GiGAスクール構想の実現に向けたリーダーシップの発揮 ・特別支援教育のコーディネート力の向上と組織的なインクルーシブ教育の推進
特別な配慮を要する幼児・児童・生徒への対応	・子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の基本的な知識	・子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の理解、実践 ・合理的配慮に対する理解、実践	・子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育の中核として実践を牽引 ・子どもの個性、特性に応じたキャリア教育の推進	・チームの責任者として、子どもの個性、特性に応じた特別な配慮や支援、特別支援教育に関する組織的な対応の企画・調整と教職員への指導、助言 ・関係機関と協働した課題の改善、解決									教職員理解 人材育成	◎教職員の資質・能力や適性の把握と活躍の場を創出する ・目標管理と面談、報告・連絡・相談を通じた教職員の現状の把握と業務に対する的確な指導 ・教職員の持ち味や新しいアイデア等の学校運営への活用 ・教職員とのコミュニケーションと同僚性、協働性を高める人材育成 ◎対話に基づく主体的な研修受講奨励
幼児・児童・生徒理解	・子どもたちの多様性を踏まえた、一人一人の子どもの理解の重要性の認識 ・子どもの発達段階への理解 ・一人一人に向き合う意識	・子どもの個性、特性の理解 ・インクルーシブ教育の視点で踏まえた、認め合い高め合う学級経営の実践	・学級および学年全体の子どもへの理解 ・学年の生徒指導の中核として、子どもの個性、特性に応じた課題への対応	・組織的な学年経営と学校全体の子どもへの理解 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導の企画、運営									学校安全 危機管理	・安全な環境での教育活動の展開 ・生徒指導上の問題行動の未然防止に対する教職員への指導、助言および適切な対応 ・学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底 ・危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係諸機関との連絡、調整 ・地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備
幼児・児童・生徒に応じた支援課題への対応や支援	・子どもたちの多様性を踏まえた、個や集団への支援や指導についての理解 ・一人一人の子どもに寄り添った態度、子どもの声に対する傾聴 ・多様な子どもに対する寛容な心と態度	・子どもの個性や特性、課題に応じた支援や指導 ・子どもの特性を理解した原因分析力 ・学校の生徒指導の方針に対する理解 ・報告・連絡・相談を通じたチームでの生徒指導の実践 ・家庭などとの信頼関係の構築、連携・協働	・チームの中核として子どもへの適切な支援や指導 ・子どもの個性、特性に応じた生徒指導方針を基にチームの中核として集団を牽引 ・若手教員に対する適切な指導、支援 ・家庭、地域社会などとの信頼関係の構築、連携・協働	・チームの責任者として教職員に対する指導、助言 ・子どもの個性、特性に応じた組織的な生徒指導方針の立案 ・チームの責任者として役割と責任を明確にした組織的な対応の企画・調整 ・速やかな情報の共有と適切な管理 ・家庭や地域、関係機関との連携・協働									財務管理	・学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備、備品等の充実 ・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理
業務改善 (働き方改革 に向けて)	・効率的な時間管理に対する意識	・自己の勤務時間の管理 ・PDCAサイクルを意識した、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・業務効率化のための積極的なICT等の活用と推進	・チームの中核として、効率的、効果的な業務遂行の工夫 ・校務分掌や学年活動における会議や行事等の精査と精選の提案と実践	・チームの責任者として、若手や中堅教員に対する働き方への示範と助言 ・学校教育活動全体の精査と精選の具体的な提案と実践									学校安全 危機管理	・安全な環境での教育活動の展開 ・生徒指導上の問題行動の未然防止に対する教職員への指導、助言および適切な対応 ・学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底 ・危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係諸機関との連絡、調整 ・地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備
学級経営 学年経営 学校経営		・理想とする学級像の形成 ・一人一人の子どもが活躍し、互いを認め合い安心してすごせる学級経営 ・スクールプランの達成に向けた教職員の協働的な実践 ・報告・連絡・相談による教職員間の協働	・学年のリーダーとして率先して協働的活動を牽引 ・スクールプランの達成に向けて、中核として学校を牽引 ・カリキュラムマネジメントを意識した協働的活動の牽引 ・若手教員の抱える課題の理解、支援	・学級間、学年間の連携を意識した学校経営への参画 ・スクールプランの達成に向けて学年や分掌の責任者としての組織的な運営 ・カリキュラムマネジメントの視点での組織的な運営 ・協働するネットワークの構築と指導、助言									学校安全 危機管理	・安全な環境での教育活動の展開 ・生徒指導上の問題行動の未然防止に対する教職員への指導、助言および適切な対応 ・学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底 ・危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係諸機関との連絡、調整 ・地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備
社会の変化への対応	・学校現場の現状の理解 ・社会情勢(国際感覚・多様性)に対する理解	・学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する理解	・学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践	・学校の実態、Society5.0等の社会情勢の変化、教育改革の動向に対する具体的な方策の提案と実践									学校安全 危機管理	・安全な環境での教育活動の展開 ・生徒指導上の問題行動の未然防止に対する教職員への指導、助言および適切な対応 ・学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底 ・危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係諸機関との連絡、調整 ・地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備
学校安全 危機管理	・学校安全、危機管理に関する基礎的な知識、理解	・学級や集団の適切な安全管理 ・勤務校の危機管理体制に対する理解	・チームの中核としての学校安全、危機管理上の課題への対処 ・適切な安全管理、結果を予測した危機管理の徹底	・チームの責任者としての学校安全、危機管理のマネジメント ・学校の事件、事故の対処と未然防止に対する教職員への指導、助言									学校安全 危機管理	・安全な環境での教育活動の展開 ・生徒指導上の問題行動の未然防止に対する教職員への指導、助言および適切な対応 ・学校安全マニュアルの遵守、施設の点検、安全管理の検証、徹底 ・危機管理マニュアルに基づき、トップリーダーとして校内組織と関係諸機関との連絡、調整 ・地域社会との協力関係の構築、危機管理体制の整備
人材育成	・様々な課題に対応する力	・学校内外の研修や自主研究への参画	・若手教員に対する指導、助言	・校内研修、自主研究の企画、運営									財務管理	・学校の実態に応じた計画的な教育環境整備と設備、備品等の充実 ・事務職員と連携した予算の適正で計画的な執行管理
連携・協働	組織における協働 家庭や地域社会との連携	・仲間と協働して、創造する経験 ・協働の良さを子どもに発信する力 ・地域社会に貢献する経験 ・地域社会の中で子どもを育てる意義の理解	・教職員間の同僚性の構築 ・チームで対応することへの理解と実践 ・家庭、地域社会への積極的な情報発信と良好なコミュニケーションの構築	・ミドルリーダーとしての自覚・積極的な行動 ・チームの中核として教員集団を牽引してチームで対応する力を向上 ・チームの責任者として同僚性が発揮できる職場環境の構築									家庭や地域社会との連携・折衝	・スクールプランや学校評価の家庭や地域社会への効果的な発信と意見集約 ・家庭や地域社会の学校への期待、関心の把握と教育活動への活用 ・地域の教育資源の積極的な活用
福井の力	「ふるさと福井」の教育	・「ふるさと福井」への理解 ・「福井の教育をよりよくしていく心と態度	・福井の教育の充実に向けて、「ふるさと福井」を学び続ける態度と自己啓発力(「ふい愛」)の向上 ・「ふるさと福井」独自の教材づくりと活用した授業の実践(「ふるさと福井の先人 100人」「古典音楽・暗唱ノート」「郷土新聞」「NIE」など)											

「◎」は特に校長に関すること